



上尾市 いのちのオンライン 相談	Web窓口 (TEL/面接) LINE 窓口 (チャット) 	困ったとき、いつでもご相談ください。 幅広い内容のご相談をソーシャルワーカーがお受けします。相談申込は24時間365日受け付け、相談日時のご相談者のご都合に合わせて調整します。
埼玉県立精神保健福祉 センター	☎048-723-6811 (予約専用電話)平日9時~17時	県民(さいたま市を除く)を対象に来所によるこころの相談を受けています。 (要予約・無料)
埼玉県こころの電話	☎048-723-1447 平日9時~17時	こころの健康や悩みに関する相談を電話のみで受け付けています。
埼玉いのちの電話	☎048-645-4343 24時間365日 ☎0120-783-556 毎日16時~21時 毎月10日午前8時~翌日8時	ひとりで悩まないで、こころの苦しみを ご相談ください。
消費生活センター	☎048-775-0801 平日10時~12時・ 13時~16時	多重債務(借金問題)やインターネット、 はがきでの架空請求、クーリングオフなど、 消費生活に関する相談や苦情を受けて います。
上尾市生活支援課 ふくしの窓口	☎048-783-4098 Fax 048-776-8872 平日8時30分~17時 相談フォーム 	福祉に関する相談をお聞きし、利用可能 な制度、適切な相談窓口をご案内してい ます。どの窓口にご相談したら良いかわか らない、複数の課にまたがる相談など複 合的な相談を丁寧にお聞きいたします。

いのち支える 上尾市自殺予防計画

～誰も自殺に追い込まれることのない上尾市の実現を目指して～

【概要版】

本市の自殺者数は、平成24年の61人をピークに増減を繰り返しながらも全体として減少傾向にあり、令和3年は23人と大きく減少しましたが、令和4年は45人と増加に転じました。

本市ではこれまで、平成21年に上尾市自殺対策庁内連携会議の設置、平成31年3月に「上尾市自殺対策計画」を策定し、この計画に基づき自殺対策を推進してきたところです。

この度、令和4年10月に閣議決定された新しい自殺総合対策大綱を踏まえ、自殺対策をより一層推進するため、市民の皆さまからも広くご意見をいただいて「いのち支える上尾市自殺予防計画」(以下「本計画」という。)を策定しました。なおこの計画では、国等が自殺対策としているものについて、自殺を未然に防ぐという観点から、あえて「自殺予防」と表現させていただきます。



いのち支える上尾市自殺予防計画

発行 : 上尾市
発行日 : 令和6年3月
編集 : 上尾市健康福祉部健康増進課
上尾市東保健センター
〒362-0015 上尾市緑丘2-1-27
TEL048-774-1414
FAX048-774-8188
ホームページ <http://www.city.ageo.lg.jp/>



上尾市西保健センター
〒362-0074 上尾市春日2-10-33
TEL048-774-1411
FAX048-776-7355

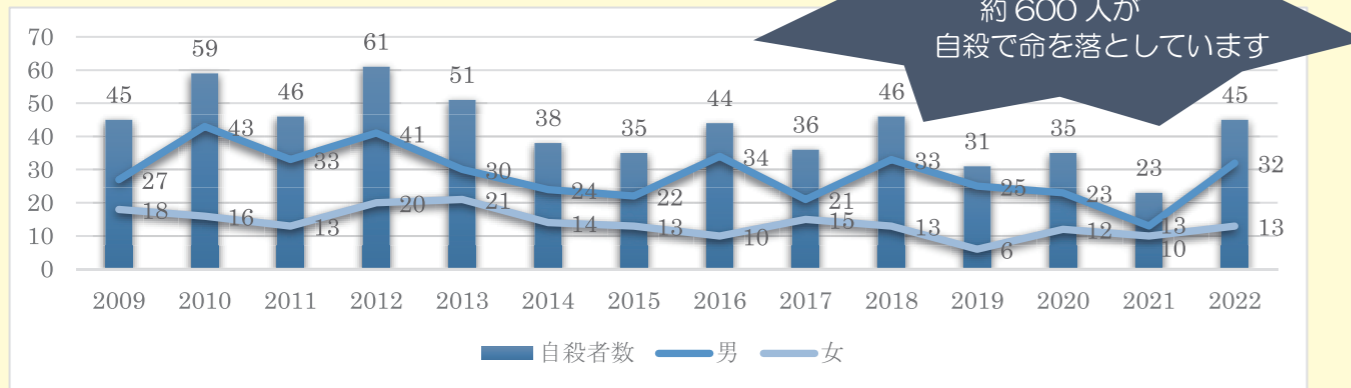
基本理念

誰も自殺に追い込まれることのない
社会の実現を目指す

1. 統計データから見る上尾市の自殺の現状

本市の自殺者数は、増減を繰り返しながら全体として減少傾向にあり、2021（令和3）年には23人と大きく減少しましたが、2022（令和4）年には45人と増加に転じました。今回の増加は、男性の自殺者数の増加が大きく影響しています。

図1 自殺者数の推移（単位：人）



【資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」】

2. 自殺の特徴と課題

- ◇ 自殺者数・自殺死亡率ともに2012（平成24）年にピークとなって以降、概ね減少傾向にあり、コロナ禍の2021（令和3）年には大きく減少しましたが、2022（令和4）年には増加に転じています。
- ◇ 自殺者数は女性よりも男性が多く、男性は20歳代、50歳代、80歳以上が多く、女性は20歳未満、20歳代、40歳代、50歳代、70歳代が多くなっています。
- ◇ ライフステージ別の死因順位は、青年期（15～24歳）において自殺が死因第1位となっており、少年期（5～14歳）、壮年期（25～44歳）において第2位となっています。
- ◇ 自殺者の職業別割合は、男性は、被雇用・勤め人、年金・雇用保険等生活者、その他の無職者が多く、女性は、年金・雇用保険等生活者が多くなっています。
- ◇ 自殺の原因・動機別割合は、健康問題が圧倒的に多く、次いで家庭問題、経済・生活問題となっています。
- ◇ 自殺既遂者の未遂歴は、男女とも「なし」が「あり」を上回り、女性のほうが男性よりも「あり」が多い傾向にあります。
- ◇ 自殺死亡率は、全国の市区町村と比較すると、20歳未満において特に高くなっています。20～59歳における自殺死亡率は、無職者・失業者において全国の市区町村の上位10%以内となっています。

3. 重点課題

- ◆ 子ども・若者の自殺死亡率が高く、子ども・若者が相談しやすい環境を整え、身近な大人が手をさしのべられる体制づくりが必要です。
- ◆ 自殺者に無職者の割合が多い状況にあり、生活困窮者の背景にあるさまざまな課題への対策が重要です。
- ◆ 高齢者の自殺者が多く、高齢者の孤独・孤立感を軽減し安心していきいきと暮らすための取り組みを行う必要があります。

4. 基本方針

1. 生きることの包括的な支援として推進する
2. 関連施策との有機的な連携を強化して総合的に取り組む
3. 対応の段階に応じてレベルごとの対策を効果的に連動させる
4. 実践と啓発を両輪として推進する
5. 関係機関、市民の役割を明確化し、その連携・協働を推進する
6. 自殺者等の名誉及び生活の平穏に配慮する

5. 目標

2024（令和6）年から2028（令和10）年の自殺死亡率を11.7以下とします。（自殺者数26人以下/年）

6. 基本施策

1. 市民ひとりひとりの気づきと見守りを促す
2. 自殺予防を支える人材を育成する
3. こころの健康づくりを推進する
4. 社会全体の自殺リスクを低下させる
5. 子ども・若者の自殺予防を推進する
6. 女性の自殺予防を推進する

7. 重点施策

1. 子ども・若者への支援
 - ① 社会全体で若者の自殺リスクを低減させるための取り組み
 - ② 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実
 - ③ 経済的困難を抱える子どもなどへの支援の充実
2. 生活困窮者への支援
 - ① 生活困窮者に対する生きるための支援の推進
 - ② 自殺予防と生活困窮者自立支援制度との連動
3. 高齢者への支援
 - ① 健康、医療、介護、生活などに対する包括的な支援体制の推進
 - ② 社会参加の促進と孤立・孤独の予防

8. 推進体制

自殺予防の推進にあたり、市長を委員長とした上尾市自殺予防推進委員会を開催し、部局を横断した連携を図ります。また、市民の方や市民団体、市議会や上尾市健康づくり推進協議会からも意見を聴取し、総合的な対策に取り組めます。